

伝わるプレス リリースとは

佐藤勝昭

名誉教授/リサーチアドバイザー

JST CRDS 特任フェロー

文科省ナノテクノロジープラットフォームPD



なぜ私が プレスリリースについて話すか

- ◇ わたしは、2008年から2019年まで 国立研究法人 科学技術振興機構 (JST) で**研究広報主監**をつとめ、**研究成果のアウトリーチ**に関わってきました。
- ◇ JST 広報課では、月刊誌「**JSTニュース**」の取材・編集にあたったほか、定例の**プレスリリース**、**プレスレクチャー**などを通じて、国民に研究成果を伝えました。
- ◇ 科学と社会推進部に協力して「**サイエンスウィンドウ**」の編集アドバイザー、**サイエンスアゴラ**などの科学コミュニケーション活動を行いました。
- ◇ また、広報課/人財部の主催するJST職員に対する「**情報発信力講座**」にも、講師として協力しました。





はじめに

1. なぜ外部発信力が求められるのか
2. どんな発信手段があるか
3. 誰に対して発信するのか
4. 受け手の立場に立って発信しよう
5. 感動をわかりやすく伝えるには



1. なぜ外部発信力が求められるのか

国民とともに創り進める科学・ 技術政策

(3) 研究情報の分かりやすい形での発信

○ 研究者は、それぞれの研究について、内容や成果を分かりやすく発信する取組を進める。例えば、3千万円以上の公的研究費を得た研究者には、小中高等学校や市民講座でのレクチャーなどの科学・技術コミュニケーション活動への貢献を求める。この際、大学及び研究開発機関は、科学・技術コミュニケーターの配置、トレーニングの実施など、研究者のアプローチ活動が適切に実施できるような事務職員の支援体制の整備、地域を中心とした連携・協力体制を整備する。また、公的資金による研究論文は、可能な限り機関リポジトリに登録することとし、その際には、一般向けにも分かりやすい数百字程度の説明を添付する。

○ アプローチ活動の普及・定着を図るため、**大学の組織的な取組**を支援するとともに、研究者等のアプローチ活動への参画が業績評価に反映されるようにすることが求められる。

科学技術基本政策策定の基本方針より抜粋

総合科学技術会議基本政策専門調査会(平成22年6月16日)

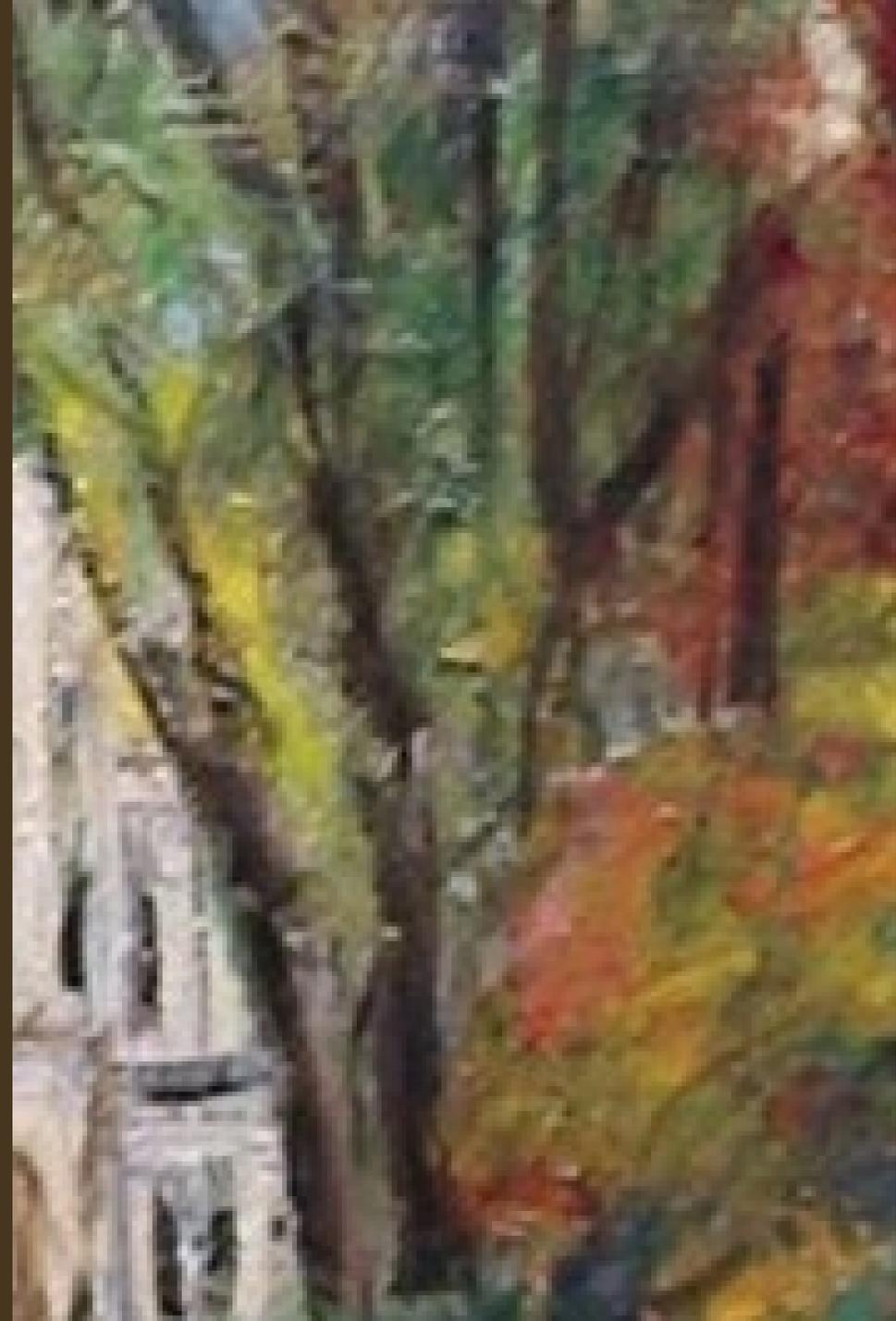
1. なぜ外部発信力が求められるのか

「アウトリーチ」から「対話」へ

「アウトリーチ」という表現が使われることがあるが、これは「懇切丁寧に手を貸すこと」の意であり、上流の研究者から下流の人々へという**一方向性の印象**がある。

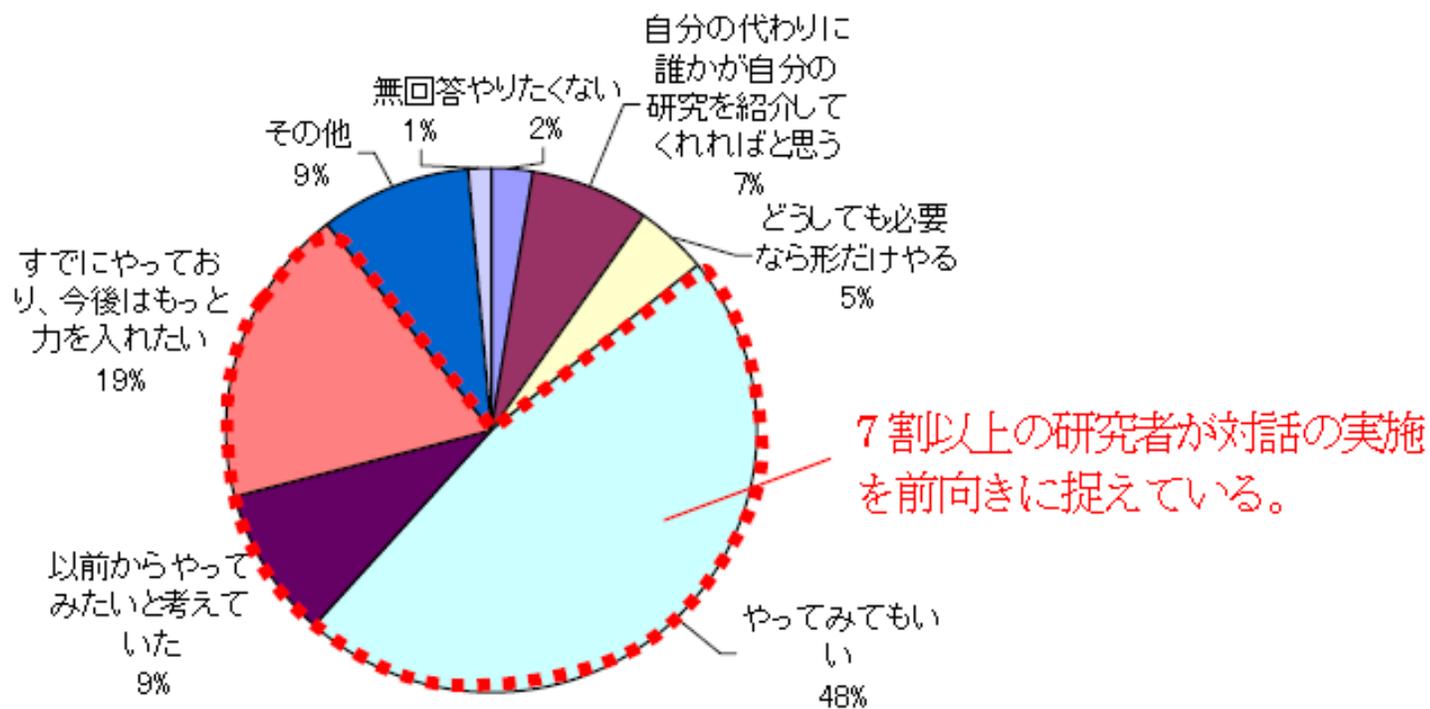
いま求められているのは**双方向のコミュニケーション**による社会とのつながりである。つまり、知識の質と量の違いが上下の関係にならず、情報の送り手と受け手は互いに学び合い高め合う関係にあることが望ましい。

JST 科学技術と社会との対話に関する検討会
(平成23年7月)より抜粋



1. なぜ外部発信力が求められるのか

研究者は「対話」に前向き



あなた自身が社会との対話を実施するよう求められたら、どう思いますか。(研Q13)

1. なぜ外部発信力が求められるのか

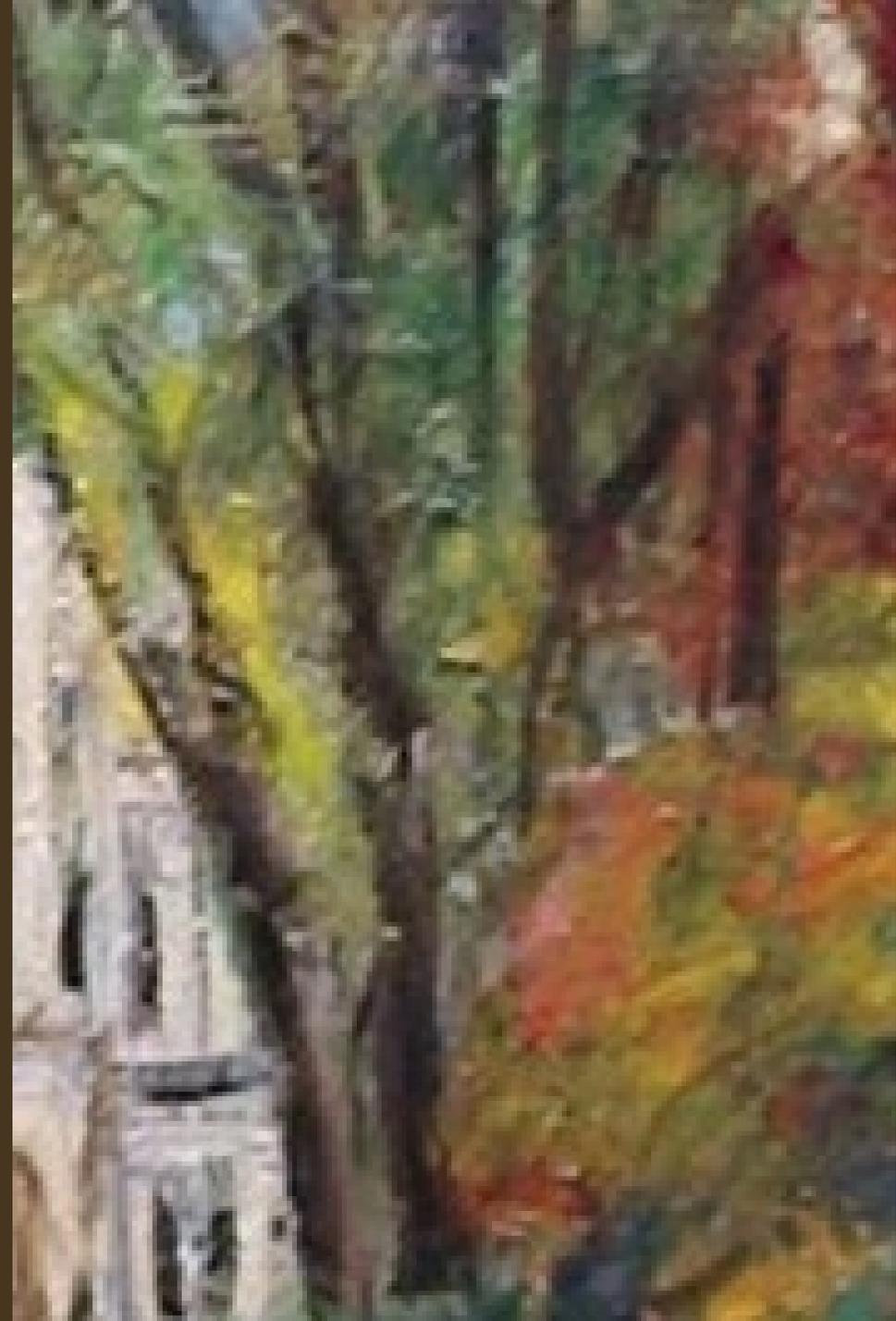
大学からの発信 ターゲットは

- ◆ 国民(納税者)←常に意識しよう
- ◆ 政府(文科省・財務省・内閣府)
- ◆ 地域(東京都・府中市・小金井市)
- ◆ 企業→産学連携・学生の受け入れ
- ◆ 学术界←これまでのターゲット
- ◆ 受験生←これからのターゲット

1. なぜ外部発信力が求められるのか

大学の研究プロジェクト における情報発信の意味

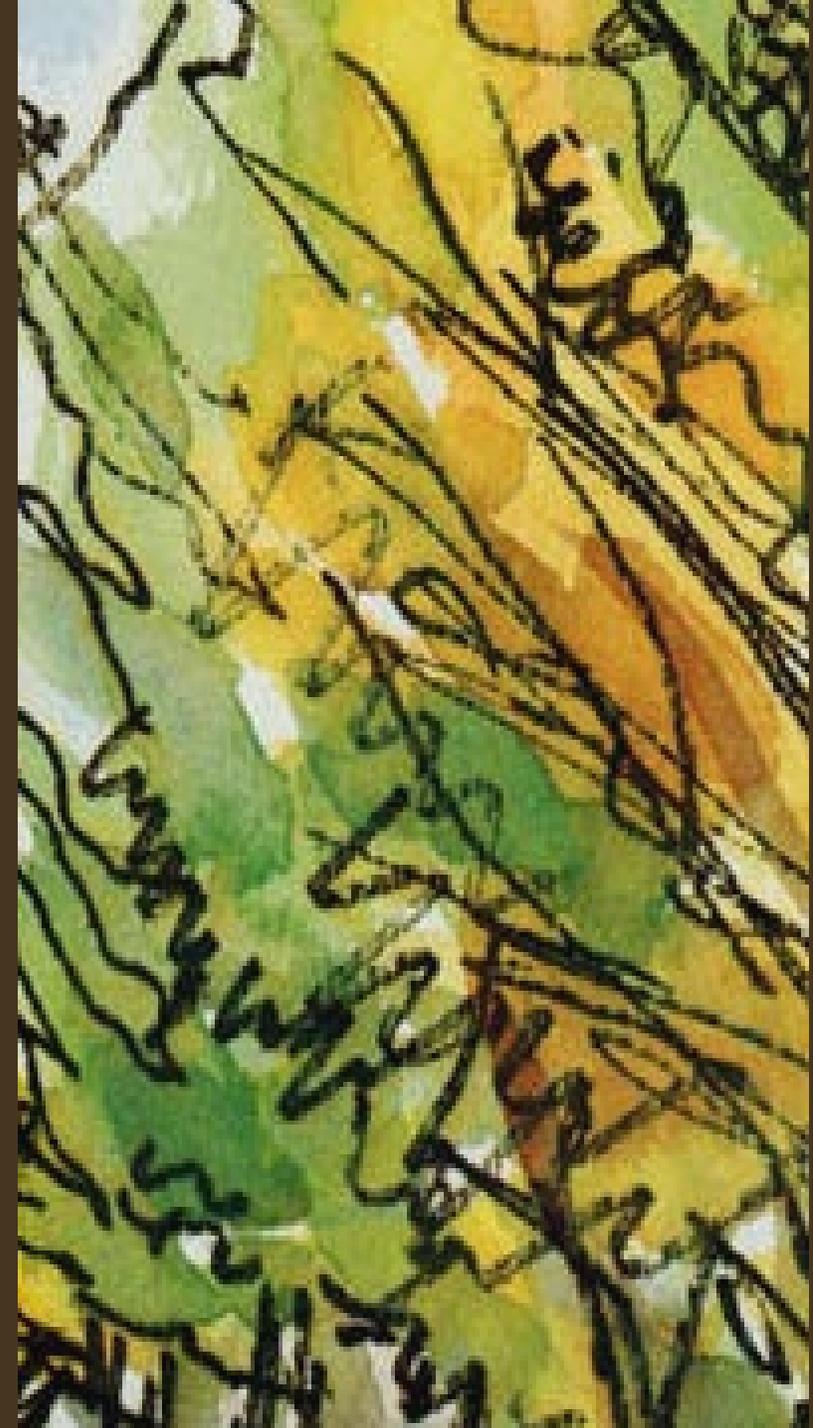
- ◆ **ターゲットの明示(公募にあたって)**
プロジェクトが何をめざすか？
どんなプレイヤーに応募して欲しいか？
- ◆ **プロジェクト内容の明示(採択後)**
どんなテーマがあり、なにをめざすか
どんなプレイヤーがいるのか？
- ◆ **プロジェクトの成果の明示**
アウトプットのわかりやすい紹介
アウトカム(社会的貢献)の紹介
インパクト(波及効果)の紹介



1. 外部発信にはどんな手段があるか

さまざまな発信手段

- ◇ 刊行物による発信
大学の概要・部局のパンフレット
- ◇ Webによる発信
大学/研究室の公式ホームページ
SNS(フェースブック・ツイッター・LINEなど)
メールマガジン
動画による発信(Youtube,)
- ◇ ホームカミングデイ
オープンキャンパス
入試説明会
- ◇ プレスリリース
レクつき
レクなし(投げ込み)



2. 外部発信にはどんな手段があるか

刊行物による発信



2. 外部発信にはどんな手段があるか

Webによる発信



2. 外部発信にはどんな手段があるか

オープンキャンパス



2. 外部発信にはどんな手段があるか

年内水飲取への前掲とクをで
11月から有料化し、将来的に廃止を目指す。
農工大によると、大学全体で「使用ゼロ」を目指すのは日本で初めて。「削減、再利用、リサイクル」の英語の頭文字を並べた「3R」に、研究、再生可能資源への代替の頭文字を加え「農工大プラスチック削減5Rキャンペーン活動宣言」と名付けた。

プラ学内ゼロに ペットボトル追放

プラスチック問題の第一人者の高田秀重教授を中心に、代替素材の開発やドローンを使った海のプラスチックごみ回収装置の開発研究を推進。プラスチックの微粒子「マイクロプラスチック」による汚染状況の調査や環境や生物への影響調査などにも取り組む。
大野弘幸学長は記者会見で「教育や研究を通じ



プレスリリース(レクつき)

3. 誰に対して発信するのか

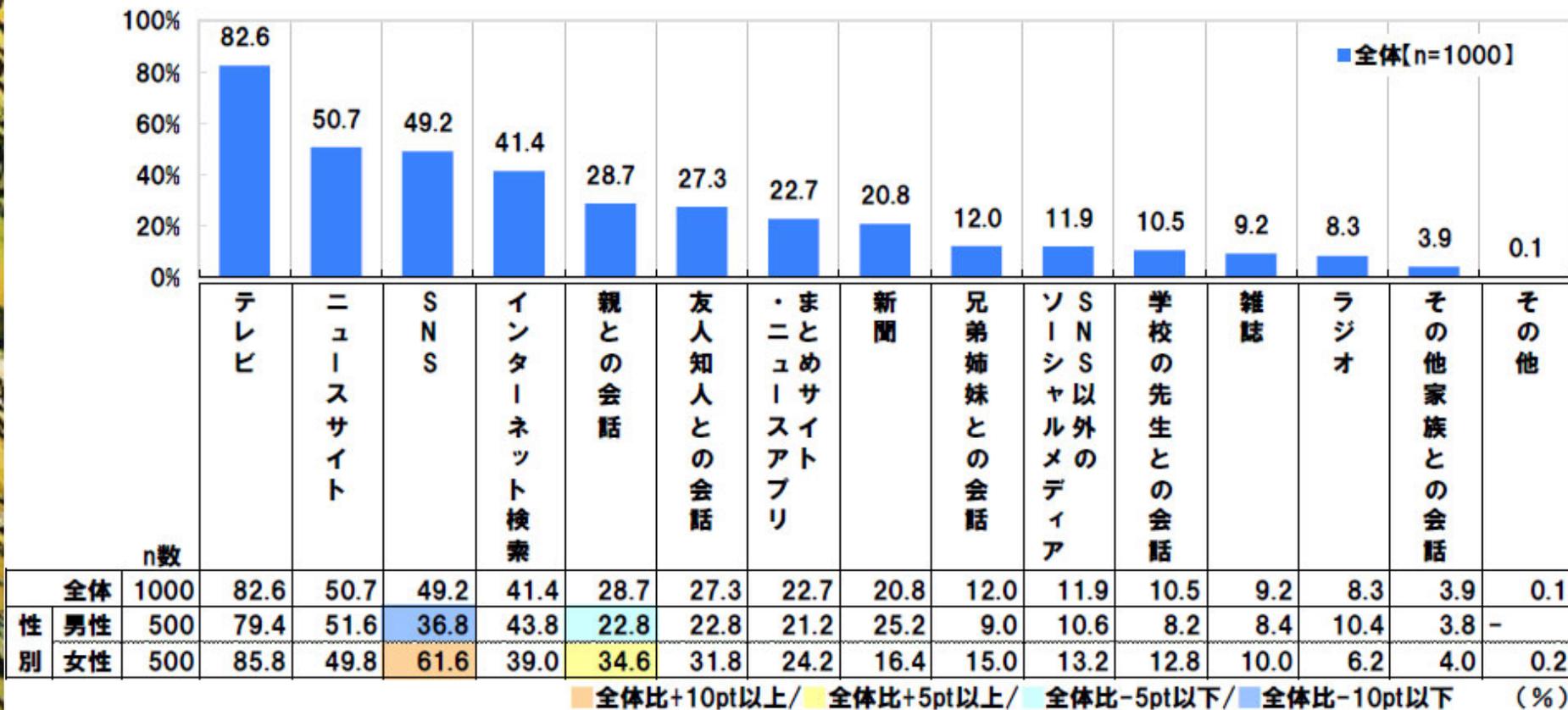
プレスリリースの発信相手 は誰か

- ◇ 同じ分野の研究者には学会誌、論文誌による情報提供で十分でしょう。
- ◇ **プレスリリースは、メディアの読者・視聴者である国民に対するものです。**
 - ◇ 産業界(ライフの場合は医療関係者)に知って貰いたい場合は、業界紙(化学工業日報など)や産業紙(日経産業、日刊工業など)向けに発信します。
 - ◇ 一般国民、政治家、政策担当者に知って貰いたい場合は、一般紙(科学面、できれば1面)を狙います。
 - ◇ 初等中等教育の教員、さらには、生徒・児童に伝えるには、科学番組をねらいます。

3. 誰に対して発信するのか

若者は「新聞」よりも「SNS」

◆ふだん、何からニュースなどの世の中の動きを知っているか [複数回答形式]



インターネットを使った調査で、15～23歳の男女1000人が回答した。調査期間は2016年7月4日から12日まで。



IV.メディア掲載件数(分野別成果)

●特徴

分野別成果のメディア掲載数は、ライフ分野が圧倒的に多い。

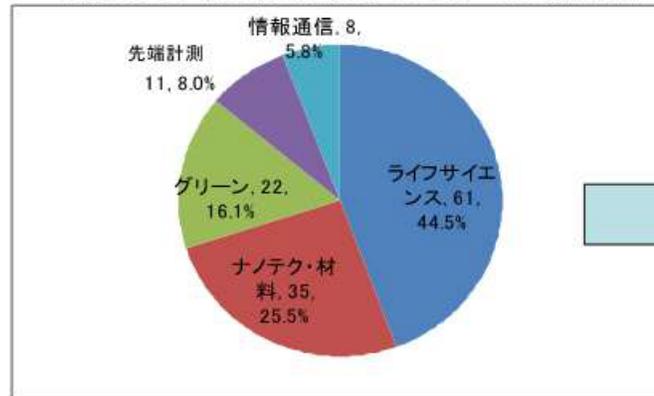
ライフ分野の成果のプレスリリースは全体の45%であるが、メディア掲載になると56%になる。

ライフ分野の成果は、メディアの関心が高く、インパクトがあるといえる。一方でナノテク材料の分野は、記事になる割合が低い。

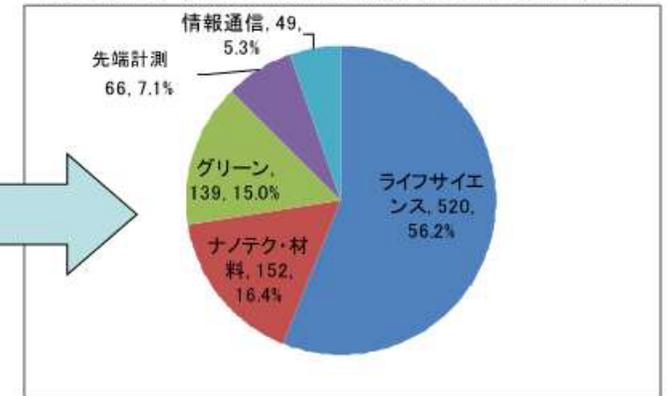
平成24年度 分野別成果メディア掲載件数

分野	掲載記事数	%
ライフサイエンス	520	56.2
ナノテク・材料	152	16.4
グリーン	139	15.0
先端計測	66	7.1
情報通信	49	5.3
	926	100.0

平成24年度 成果(137件)のプレスリリースの分野内訳



平成24年度 成果のメディア掲載数(926件)の分野内訳



プレス発表しても
掲載されるとは限らない(JSTの場合)

4. 受け手の立場に立って発信しよう

発信の受け手とは？

同じことを伝えるにも内容や相手によって、
表現や内容を変えなければなりません

- ◇ 研究成果：研究者、研究機関、学界、産業界、地域、国民
- ◇ 教育：受験生および関係者：教員、教育機関、教育産業、国民
- ◇ 地域貢献：研究者、研究機関、産業、メディア、国民

4. 受け手の立場に立って発信しよう

研究機関からの発表は 受け手の立場に立っているでしょうか(1)

- ◇ テラヘルツ光で電気分極の量子波の観測に成功～電子型有機誘電体における新しい準粒子の発見と光増殖効果～
(平成25年2月19日 東北大 /NICT/JST) ★☆☆☆
- ◇ 太陽電池用の擬似単結晶シリコンインゴットの育成に成功
–結晶粒界エンジニアリングによる多結晶化要因の克服–
(平成25年1月30日 東北大 /JST) ★★☆☆
- ◇ 究極の接合構造を有する高分子材料の合成と電荷分離機構の解明に成功(平成25年1月29日 分子研) ★★☆☆
- ◇ バクテリアの抗生物質適応能を高めるパーシスタンス現象の解明進む～70年信じられた定説を覆す確率的遺伝子発現による適応～
(平成25年1月4日 東大/JST) ★☆☆☆
- ◇ 複雑な代謝反応ネットワークを実測データだけから推定する手法を開発–未知の代謝経路を理論的に探索することが可能に–
(平成25年1月11日 理研/九大/JST) ★★★☆

4. 受け手の立場に立って発信しよう

研究機関からの発表は 受け手の立場に立っているでしょうか(2)

- ◇ 3次元量子ドット構造の形成実現によるLED発光を世界で初めて観察
—バイオテンプレート極限加工により次世代量子ドットLED実用化
に道— (平成26年9月4日 北大) ★☆☆☆
- ◇ シリセンの基盤電子構造解明 —グラフェンを越えるシリセンの新機能開拓
に道(平成26年12月22日 東北大) ★★☆☆
- ◇ アフリカ・シクリッドの多様性は過去のゲノム多型が基盤
—シクリッド5種の全ゲノム配列を決定して解明— (平成26年10月21日 東工大) ★★☆☆
- ◇ 末梢動脈閉塞性疾患の血管新生破綻機序の一因を発見
(平成26年11月7日 名大) ★☆☆☆
- ◇ 深在性真菌症創薬の新しい標的
エルゴステリルグルコシド分解酵素EGCrP2を発見 (平成25年1月13日 九大) ★☆☆☆

4. 受け手の立場に立って発信しよう

末梢動脈閉塞性疾患の血管新生破綻機序の一因を発見

ある医学部の発表

- ◆ 末梢動脈閉塞性疾患患者での、VEGF-A(血管新生能を増強するサイトカインの一つ) 血中濃度が健常人と比較して優位に上昇しているにもかかわらず、なぜ下肢組織虚血が改善されないかの矛盾点をVEGF-A の新たな抑制型アイソフォームVEGF-A165b に着目し、その病因の一旦を解明しました。
- ◆ これにより、今まで、末梢動脈閉塞性疾患患者において病態を把握する血液を用いた検査法が見いだせていないため、今後、VEGF-A165b が血管病の早期発見と治療法の標的となる可能性が示唆されました。

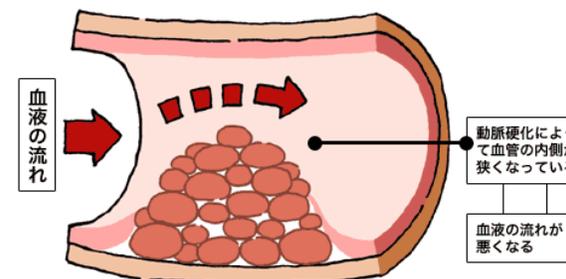
末梢動脈閉塞性疾患: 全身の動脈の中でも主に手足に血液を届ける動脈を「末梢動脈」と言います。この末梢動脈に動脈硬化症が生じると、手足に血行不良が起こり、PADと呼ばれる病気になります。しびれや痛み、悪化すると潰瘍ができたり、ひどい場合には壊死したりすることもあります。末梢血管の病気の中で最も多いものです。

血管新生破綻: つまった血管から分枝伸長してあたらしい血管を形成する機能が働かないこと

VEGF-A: 血管内皮細胞増殖因子

VEGF-A165b: 血管内皮細胞抑制因子

この因子の働きを弱めれば治療でき
(治療法の標的)



5. 感動をわかりやすく伝えるには

感動が伝わるでしょうか

- ◇ 抗体の親和性を高める新しい方法を開発
(抗原キャリア複合体を用いずに、低分子認識抗体による検出性能を飛躍的に向上)
- ◇ てんかん発症の鍵となるタンパク質複合体の働きを解明
—特発性部分てんかんの発症メカニズムの理解へ—
- ◇ 体の左右非対称性をもたらす繊毛の回転運動、その仕組みを解明
- ◇ ナノ・材料 冷却原子気体の普遍的な熱力学関数の決定に成功
(高温超伝導などの理解を進める)
- ◇ 粘菌の輸送ネットワークから都市構造の設計理論を構築
—都市間を結ぶ最適な道路・鉄道網の法則確立に期待—

5. 感動をわかりやすく伝えるには

文章の考え方

- ◇ 「難しいこと」は「簡単」に、翻訳して書く
中学生にも分かる文章にする= 絶対原則
- ◇ 簡単なことには「説明」や「理屈」を付ける
もってもらくなる
- ◇ 相手の立場に立って書く
読む人の気持ちになって、もう一度(何度も)見直す。
- ◇ 声に出して読む(音読する)
- ◇ 書いた翌日、推敲する
- ◇ 書きあげた文章を、親しい人(家族、友人)に読んでもらい、分かりにくいところを直す

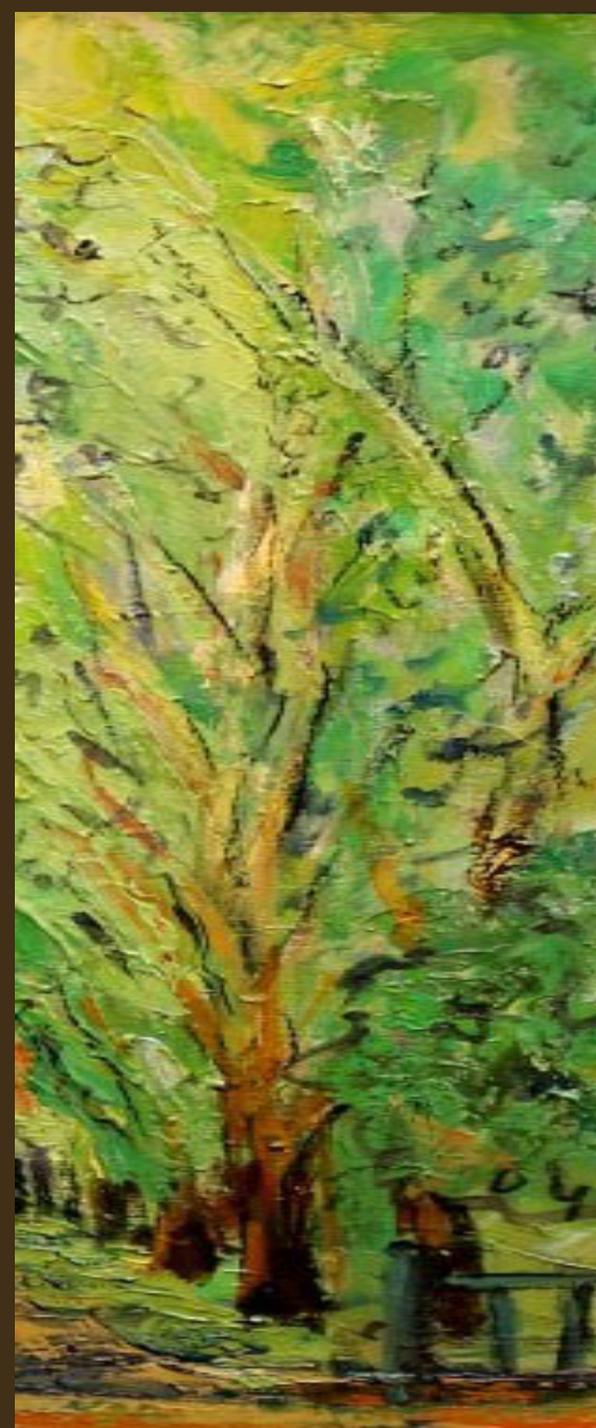
出典: 浅羽雅晴: JST実践文章力講座

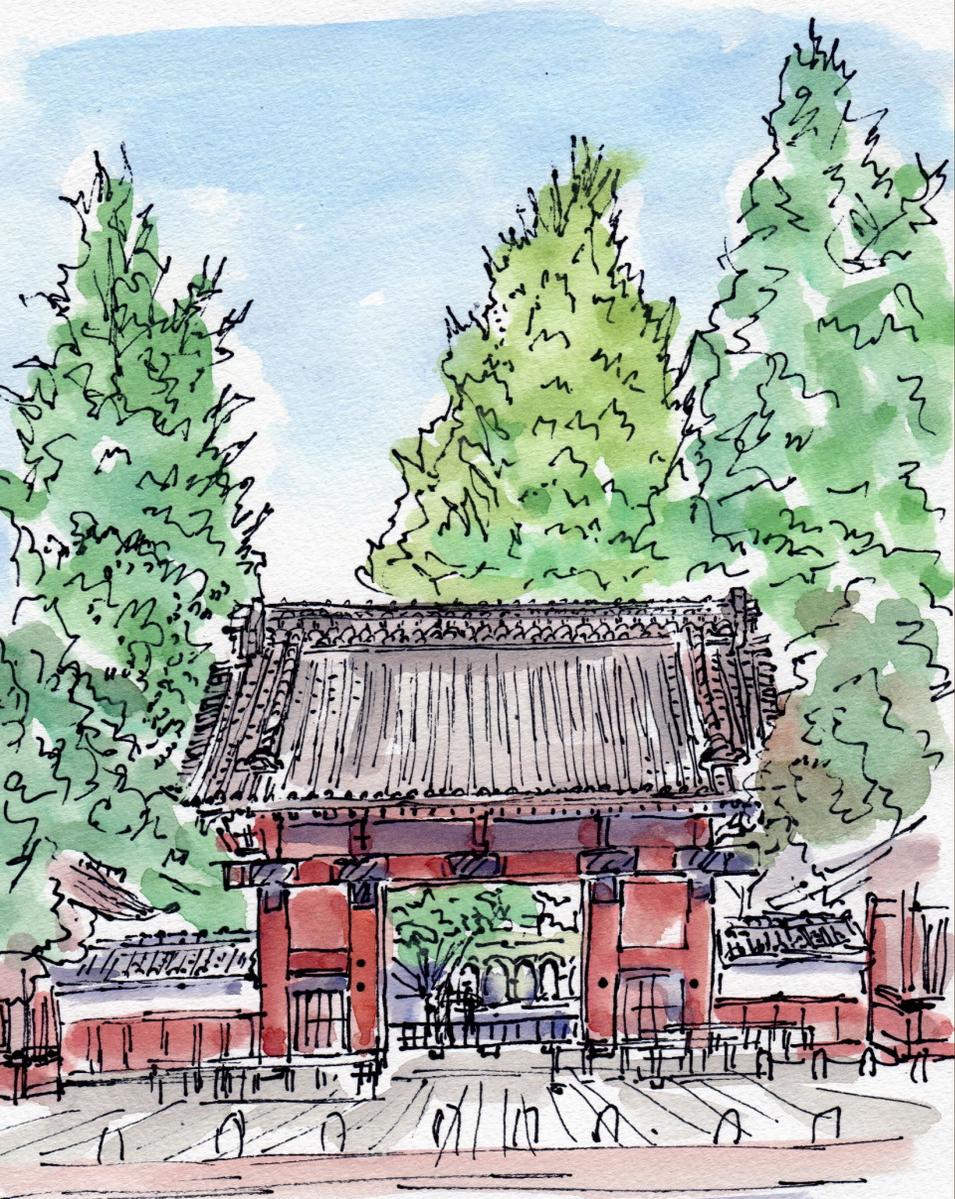
5. 感動をわかりやすく伝えるには

使わないほうが良い言葉

- ◇ **カタカナ語** (科学分野には特に多い)
アイデンティティ、イノベーション、アプローチ
- ◇ 「～的」「～性」は**ゴマカシ**、**意味不明が多い**
創造性、利便性、機能的、絶対的、わたしの
- ◇ 「行う(行われた)」「**～おいて**」
音楽会が行われた会場(音楽会場)においては → **音楽会場では**
- ◇ 「いずれにしても」
- ◇ 受動形は使わない
○○研究所により発表された → **研究所が発表した**

出典: 浅羽雅晴: JST実践文章力講座





Red Gate
Univ Tokyo
2019.10.6

KATSUAKI

5. 感動をわかりやすく伝えるには

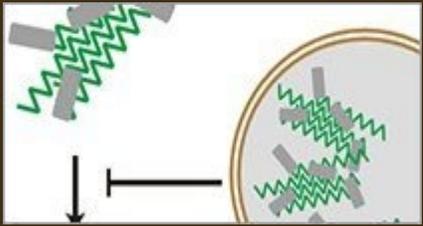
大学広報の努力が見える (1) 読んでみたくなるタイトル

◇ 東京大学

- ◇ 2005/4/30 世界最高強度の光で探る真空
- ◇ 2005/4/25 明るすぎる超新星、手前に虫めがねがあった！
- ◇ 2005/4/23 原始宇宙の中性水素ガスの兆候を発見
- ◇ 2005/4/17 タンパク質を細胞膜に組み込むメカニズムを解明
- ◇ 2005/3/24 植物の木質細胞が作られる仕組みを解明
- ◇ 2005/3/20 「あかり」が捉えた星間有機物の進化
- ◇ 2005/3/20 『化粧』をする星
- ◇ 2005/3/19 銀河団における巨大なエネルギーの流れを発見

大学広報の努力が見える (2)図を効果的に使う

◇京都大学



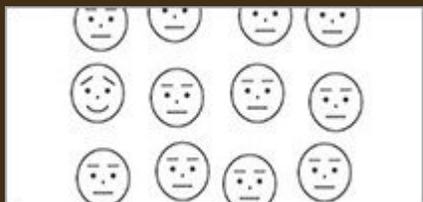
ポリユビキチン鎖のアミロイド様線維形成を発見
—神経変性疾患における脳内異常タンパク質凝集の形成機構解明に期待—



魚類が「胎生」になるために獲得した仕組みの一端を解明



骨標本で外来魚を駆除



自閉症児童は表情のよみとりが苦手
—コミュニケーション困難の一因か?—



5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大最近の新聞記事

- ◇ イヌの抗がん剤、尿で効果確認(8/1)
- ◇ 農工大学内でプラ削減 マイボトル利用呼びかけ(8/10)
- ◇ クマどこでも注意
市街、観光地にも出没 襲われ負傷相次ぐ(9/5)
- ◇ 秋のドングリがクマの一年を支える～エネルギー収支から見たツキノワグマの食いだめ戦略～(10/17)
- ◇ 「時計仕掛けのケヤキ並木」のカオス同期～新宿と府中のケヤキらは20kmはなれていても同期する～(10/31)



5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大のプレスリリースとメディア掲載

発表日	分類	タイトル	所属	発表者	掲載
2019年8月9日	お知らせ	「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」活動宣言について			8/10-8/21読売・日経・朝日・毎日
2019年8月19日	研究成果	(研究成果の発表) アレルギー性鼻炎(花粉症)原因物質、スギ・ヒノキ花粉飛散量の日本列島広域における同期状態の可視化に成功	農自然環境	酒井憲司	8/26EurekAlert
2019年8月19日	研究成果	(研究成果の発表) 海鳥が食べたプラスチック片から添加剤を検出	農物質循環環境	高田秀重	10/25日経産業
2019年8月20日	研究成果	(研究成果の発表) カシューナッツの殻から無色透明材料の開発に成功～地球規模環境問題の緩和策と新興国への科学技術支援に期待～	工応用化学	兼橋 真二	8/22,25財経新聞
2019年8月22日	研究成果	(研究成果の発表) ホウ素化されたポリエン骨格を1つの反応容器内で合成し、他の有機分子への骨格導入に成功: 抗生物質や抗がん剤の合成簡略化やフロー合成に期待	工応用化学	平野雅文	8/23日経
2019年8月26日	研究成果	(研究成果の発表) プラズモン熱と熱電変換を組み合わせた新しい光検出器を開発	工電気電子	久保若奈	8/24日経
2019年9月6日	研究成果	(研究成果の発表) 腸内細菌は食用油に含まれる多価不飽和脂肪酸を代謝することにより宿主の肥満を防ぐことを解明	農応用生命	木村郁夫	9/10 財経新聞、大学ジャーナル、Q Life、9/20 スポーツ栄養WEB、9/24 あなたの健康百科
2019年9月13日	研究成果	(研究成果の発表) スマートフォンで撮影された将棋局面をAIが認識	工情報	中川 正樹	9/13 日刊スポーツ、yahooニュース、Gooニュース、9/21 大学ジャーナル

5. 感動をわかりやすく伝えるには

プレスリリースは新聞記事ではこう変わる

もとのプレスリリース(抜粋)8/9

- ◆ 「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」活動宣言
- ◆ 本学は、2019年8月9日(金)に、SDGsの達成、2050年**石油ベースプラスチックゼロ**に向けて、使い捨てプラスチックの削減と、課題解決のための新素材の創生等を含めた研究の推進に取り組む「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」(TUAT Plastic 5R Campus)活動を宣言しました。
海洋汚染の原因とされるプラスチックごみの規制は、2019年6月のG20大阪サミットでも焦点の1つとなりましたが、東京農工大学では、マイクロプラスチック汚染について研究を続けてきた農学研究院 高田秀重教授を中心とする農学・工学融合の研究チームを発足し、早くから本課題に取り組んで参りました。
5R
2019年5月に政府が作成したプラスチック循環資源戦略における「3R(Reduce, Reuse, Recycle)+ Renewable(再生可能資源への代替)」の基本原則に、研究(Research)を加えた、本学独自の取組です
今回の活動宣言に基づいて、プラスチック削減策(マイボトル用給水器設置によるペットボトル削減、生協購買部等の学内販売におけるレジ袋の削減、大学ノベルティグッズからのプラスチック削減への取組)、教育活動を通じた次世代の育成、社会貢献活動を通じた普及啓発活動に、取り組んで参ります。
「マイボトル用 浄水給水器」を設置
不純物質を取り除きミネラルは残す浄水機能を備えた「マイボトル用 浄水給水器」を府中・小金井両キャンパスに設置しました。マイボトルを持参の上、ぜひご利用ください。

記事になるとこう変わる(日経8/11)

- ◆ 大学から**使い捨てプラ追放** 農工大が活動宣言
- ◆ 東京農工大は11日までに、2050年に**石油を原料とするプラスチックの使用をゼロ**にすることを目指し、学内の使い捨てプラスチックの使用削減に取り組む活動を始めると発表した。

来年4月、学内に約30台ある自動販売機から**ペットボトル飲料を追放する一方、給水器の設置を進める**。学内の生協ではレジ袋を今年11月から有料化し、将来的に廃止を目指す。

農工大によると、大学全体で「使用ゼロ」を目指すのは日本で初めて。「削減、再利用、リサイクル」の英語の頭文字を並べた「3R」に、研究、再生可能資源への代替の頭文字を加え「農工大プラスチック削減5Rキャンパス活動宣言」と名付けた。

プラスチック問題の第一人者の高田秀重教授を中心に、代替素材の開発やドローンを使った海のプラスチックごみ回収装置の開発研究を推進。プラスチックの微粒子「マイクロプラスチック」による汚染状況の調査や環境や生物への影響調査などにも取り組む。
- ◆ 大野弘幸学長は記者会見で「教育や研究を通じて社会全体に動きを広げたい。50年に石油由来のプラスチックを全て天然素材からのものにすることは可能だ」と述べた。(共同)

5. 感動をわかりやすく伝えるには

ネットニュースに取り上げられると・・・

カシューナッツの殻から無色透明材料の開発に成功～地球規模環境問題の緩和策と新興国への科学技術支援に期待～

カシューナッツから無色透明のポリマーを開発 東京農工大(Livedoor)

- ◆ 研究成果のポイント
- ◆ ◆ 持続可能社会の実現に向けた未利用・廃棄バイオマスであるカシューナッツ殻から機能性材料の開発に成功
- ◆ ◆ 人体や環境に有害なホルムアルデヒドや重金属触媒等を使用しない環境調和型バイオベースポリマー
- ◆ ◆ 有機溶媒を使用せず室温での塗膜やフィルム、シート、樹脂等への材料形成が容易で、耐熱性、柔軟性だけでなく、従来のカシュー製品の課題であった光学的無色透明化と経時的な物性変化の抑制が可能
- ◆ 国立大学法人東京農工大学大学院工学研究院応用化学部門の兼橋真二(かねはししんじ)助教と大学院生物システム応用科学府の荻野賢司(おぎのけんじ)教授、工学研究院応用化学部門の下村武史(しもむらたけし)教授は、食用とならず、その多くが廃棄物処分となるカシューナッツの殻より得られる天然植物油(カシューオイル)から、材料形成時に環境や人体に有害なホルムアルデヒドや重金属触媒などの化合物を使用しないバイオベースポリマーを開発しました。この材料は室温で塗料、フィルムやシート、樹脂への無溶剤形成が可能であり、耐熱性、柔軟性(フレキシブル性)を有しています。さらに、従来のカシュー製品の課題であった光学的無色透明化と経時的な物性変化の抑制を達成しました。これらの特性は、カシューオイル製品の可能性を大幅に広げる可能性を秘めており、未利用廃棄バイオマス由来の材料として、幅広い材料分野への応用展開が期待できます。さらにはカシューナッツ殻発生国であるベトナムやインド等の新興国への科学技術・経済支援にも大きく期待できるものです。

- ◆ 再生可能な生物資源である「バイオマス」。東京農工大学は20日、カシューオイルから無色透明のポリマーの開発に成功したことを発表した。原料となるカシューナッツの殻の多くが廃棄物処分されるだけでなく、耐熱性やフレキシブル性を有していることから、幅広い材料分野への応用展開が期待できるという。
- ◆ (中略)
- ◆ 東京農工大学の研究グループが注目したのが、カシューナッツの殻から採取される天然植物油「カシューオイル」である。カシューナッツの殻の多くは廃棄処分になり、また食用にならないことで知られている。
- ◆ ■ 困難な無色透明化も実現
- ◆ カシューオイルはこれまで、エポキシ樹脂、フェノール樹脂、木工用塗料等に製品化されてきた。ところが、製造工程では、ホルムアルデヒドや重金属触媒、揮発性有機化合物などの環境や人体に有害な物質が使用されてきた。
- ◆ 研究グループが開発したバイオベースポリマーはこれらの化合物を使用しない代わりに、光を照射することで高分子を形成させる「光重合」によって、バイオベースポリマーは室温でも形成可能だという。
- ◆ 開発したポリマーは350度まで耐熱性をもつだけでなく、フレキシブルな特性をもつ。また従来のカシュー製品は、着色により無色透明化が難しく、経時による物性の変化が大きいという課題があった。だが今回、光学的な無色透明化が実現されただけでなく、時間を経ても物性の変化を抑制させることに成功した。これにより、カシューオイル製品の可能性が大幅に広がるという。
- ◆ カシューナッツの殻はベトナムやインド等の新興国で多く発生することから、これらの国への科学技術・経済支援にも貢献するだろうと、研究グループは大きな期待を寄せている。

おわりに 感動を伝えるには

- ◇ 伝える側がワクワクしないと、相手を感動させることなどできません。
- ◇ 磨け「感動を伝える」発信力！
- ◇ もて！好奇心
- ◇ 磨け！感性
- ◇ **伝えるために相手を知ろう**

